

# 概要：実証内容と成果物

市が解決したい課題

今回実施した主な作業

成果物

## 全庁

### ①市政データのオープン化・ビジュアル化

保有する平成20年以降の市政データをオープン化、ビジュアル化し、データ分析を容易にする基盤をつくりたい

### BIツール：Tableauによる可視化

- ✓ 目的の明確化、仮説立案支援
- ✓ 税データ、市民意識調査の可視化
- ✓ 税務関係者とのデータ抽出依頼調整
- ✓ 庁内データの流通に関する課題整理

### 3つのダッシュボードを作成

- ✓ 庁内データ可視化ダッシュボード（固定資産税データ可視化）
- ✓ オープンデータ可視化ダッシュボード（EBPM支援サービスを利用した経済センサス可視化）
- ✓ 市民意識調査（アンケート）ダッシュボード

## 産業振興課

### ②データを活用した施策の効果検証

分析データに基づいた企業立地施策の効果を検証し、施策の見直し、拡充を行いたい

### 計量経済学に基づいた効果検証

- ✓ 市が保有する税務データおよびe-statなどのオープンデータによる効果検証

### 効果検証報告を作成

- ✓ 施策による西部地区、産業誘導区域の固定資産税増収効果を定量的に算出
- ✓ 住工分離/産業集約の状況を固定資産税データから分析し効果を確認

# 成果① 市政データのオープン化・ビジュアル化

## Tableauとは・・・

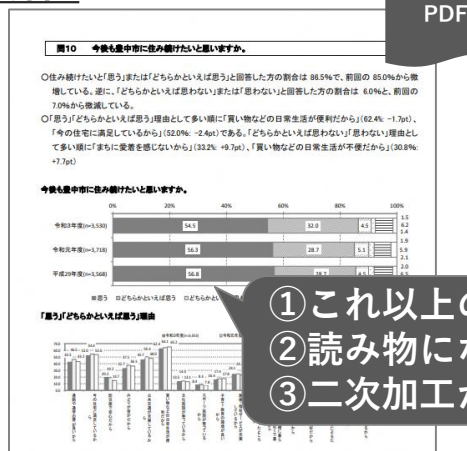
プログラミング等を必要とせず、簡単な操作でデータを可視化・分析ができるBIツール。  
サイロ化した（情報管理の縦割りによる）データを統合し、掛け合わせ、人間がより理解できる形に可視化することで、根拠の明確化、知見の発見を実現する



効果：  
データに基づく意思決定・効果測定が可能になる  
自分で深掘し、分析を行うことができる  
業務改善、DXに繋がる  
データをより理解しやすい形で使う人に提供できる 等々

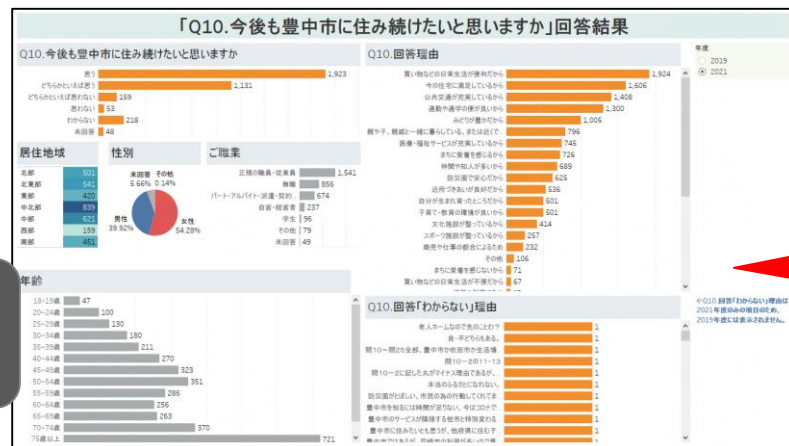
## 今回実施した具体例）市民意識調査

### 既存



- ① これ以上の分析が難しい
- ② 読み物になっている
- ③ 二次加工が難しい

### 今回



- ① 見やすいビジュアル
- ② クロス分析が可能に
- ③ 二次加工が可能に

参照：豊中市市民意識調査  
<https://www.city.toyonaka.osaka.jp/joho/keikaku/soukei4/20180302162842780.html>

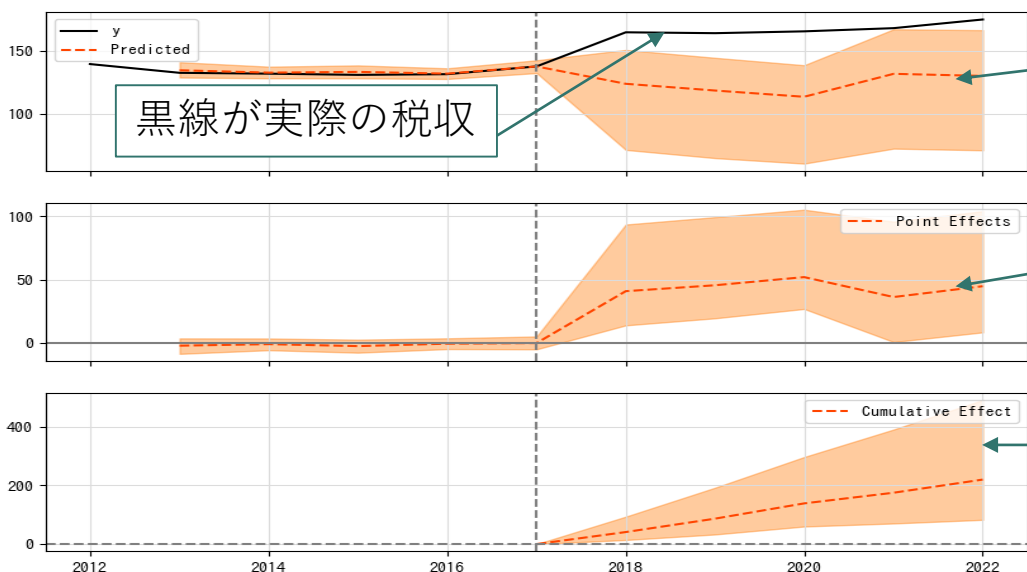
# 成果② データを活用した施策の効果検証

## 税込増効果

最新の計量経済学手法により、**施策による税込増を確認。**

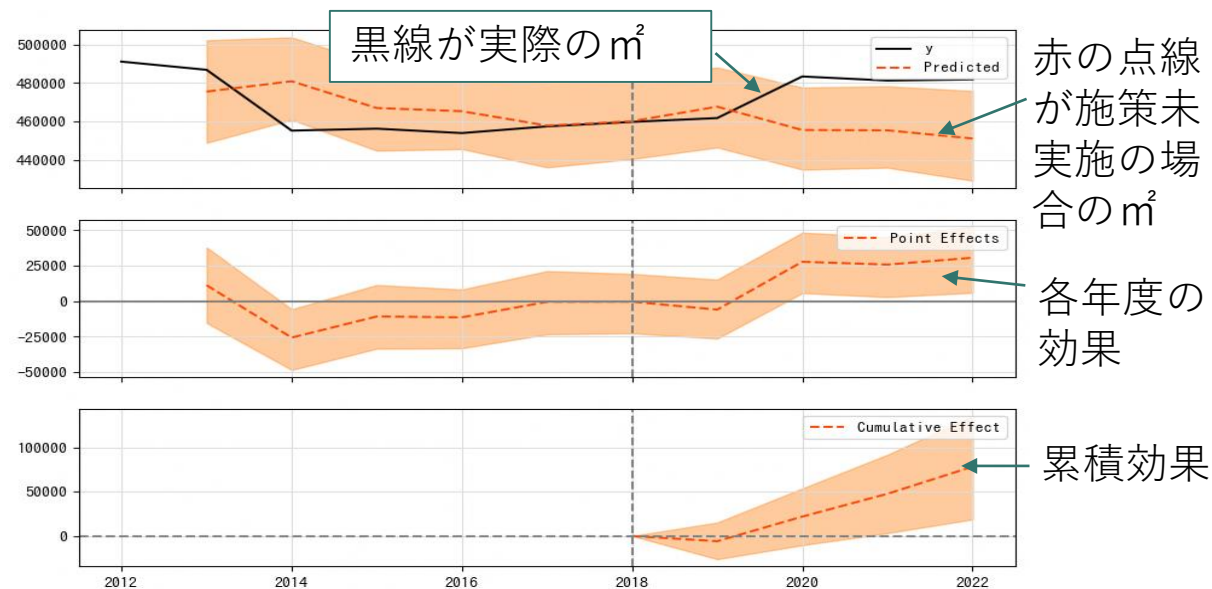
## 産業集約効果

**住工分離／産業集約についても定量効果を確認。** 工業系用途地域では施策効果により工業床面積や倉庫がいずれも増加。



黒線が実際の税込  
赤の点線が施策未実施の場合の税込  
各年度の効果  
累積効果

西部地区の土地税込推移グラフ



工業系用途地域の工場床面積(m<sup>2</sup>)増床効果の推計グラフ

企業立地施策の対象エリア・業種拡大を検討。